

2005年(平成17年)7月15日(金曜日)

南富土産業

中国・武漢でエリート塾

養成後、日系企業幹部に

【上海＝林英樹】中国で「スーパーエリート幹部候補生」を育成します

「上海＝林英樹」中国で「スーパーエリート幹部候補生」を育成します。中国で人材紹介ビジネスを手掛ける南富土産業（静岡県三島市、杉山定久社長）は中国内陸部、武漢（湖北省）で企業経営者を目指す少人数の学生塾、グローバル・マネジメント・カレッジ（GMC）を十六日に始める。半年間の訓練期間で、課題を自ら発見し解

決できる人材を育てる方針だ。二十一～三十歳代の中国人数千人の応募者から将来性、人間性など独自基準で十五人の選抜を進めている。GMCでは杉山社長ら経営に携わる講師が財務管理などの経営の基本、ビジネスマナーなどを集中講義する。修了後は同社が紹介する主に中国に拠点を置く日系企業で、総経理や工場長な

どの管理者として活躍する。

上海など中国沿岸部は外資系企業の進出が相次ぎ、優秀な人材の確保が難しくなってきたという。そこで、「素質のある人材は多いが、表に出るチャンスが少ない」内陸部に人材を育成する拠点を求め、新たな「人材供給基地」づくりを急ぐ。